

# 「使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収」

**ボランティアサークル「マリア救援隊」**は、コロナ禍で、思うように活動ができない中でもできることを探し、使い捨てコンタクトの空ケースを何かりサイクルできないかと考え、

「**使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収**」アイシティ ecoプロジェクトに参加しました。この活動は**コンタクトのアイシティさん**の活動です。



星美短大キャラクター“ピーノ”

**まずは回収ボックスを学生玄関に設置しました!**



空ケースを回収することで、

- ①CO2 の削減、
- ②障がい者の自立・就労支援
- ③日本アイバンク協会への寄付

と、3つの社会貢献になります！

(<https://www.eyecity.jp/eco/>参照)

また、**地域での連携**にも繋がると考えています(^)

毎日ゴミになってしまう物を減らし、少しの気持ちと行動で「みんなの共通の家」である地球を守ることに繋がります。

コンタクトレンズを使っている人は、ぜひ家族や友だちと空ケース集めて、短大に来た際にボックスに入れてくださると嬉しいです。ご協力よろしくお祈りしますm(\_)\_mと、学生や先生方に呼びかけながら進めました。

講義最終日、昼休みの 5~6 分だけでしたが、1年生のメンバーにも集ってもらい、換気のよい廊下で立ったままでしたが、手短に私たち専攻科生からの**引き継ぎ会**を行いました。🍒

これから1年生が、「**使い捨てコンタクトレンズ空ケースのリサイクル活動**」を引き続き頑張ってくれます。



ケースがいっぱいに！そして感謝状!!  
小さな小さな貢献ですが、嬉しい!



**感謝状**

星美学園短期大学様

この度は、使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収活動「アイシティecoプロジェクト」にご協力いただき誠にありがとうございます

空ケースの売却代金は、ふたたび視力を取り戻そうと願われる方々のために全額を日本アイバンク協会へ寄付させていただきます

皆様の温かいお心に感謝申し上げます

2022年2月  
コンタクトのアイシティ  
スタッフ一同

- 今回ご提供いただいたコンタクトレンズ空ケース

重量	個数
3.71kg	3,710 個

- 日本アイバンク協会とは  
(公財)日本アイバンク協会は、角膜移植とアイバンクの啓発・普及のために昭和40年4月19日に設立された非営利団体です

日本アイバンク協会で行っている主な事業

- ① 角膜提供登録・角膜移植を推進するための普及啓発事業
- ② 角膜移植待機者に対する助成事業
- ③ アイバンク活動を推進するための啓発事業
- ④ 調査統計事業
- ⑤ 義眼・義歯等に関する資料